



問 公園と史跡地の
目的外利用の防止策は

門田 直樹 議員

Q 公園と史跡地
の駐車場の目的

外利用が常態化して
おり、看過できない状
況がある。先日行われ
た市民と議会の意見
交換会においても市
民の方からご指摘と
改善要望があがって
いるが、市の対応を
伺う。

A 部長 市内の公
園は、太宰府市

公園条例第6条で、
公園をその用途外に
使用することを禁止
しています。これに
基づき、「この駐車
場は公園利用者の
駐車場ですので、そ
の他の利用は禁止
します。」という内
容の注意看板や張り
紙を設けて、迷惑
駐車防止を図って
います。

取り扱いができて
いないため、どうや
って近隣に駐車
場を確保していく
かについて、研究・
調査を進めている
ところです。



しかしながら、平日
の目的外利用の車両
が常態化しているこ
とから、さらに看
板の増設や表示内
容の見直しや、市
職員による巡回な
どについても、検
討していきたく
考えています。ま
た、史跡地内の広
場については、正
式に駐車場とい
う

全質問項目

- ◇公園と史跡地の駐車場について
- ◇地域猫活動について



問 よりよい
子育て環境のために

神武 綾 議員

Q 保育行政につ
いて3点伺う。

- ①待機児童の解消について、4月に60人だった待機児童が、10月には105人と増え続けており、早急な対策が必要と考えるが、市の見解は。
- ②子ども・子育て支援法の施行に伴う、保護者への影響と多子世帯への保育料の負担軽減は。
- ③太宰府市子ども・子育て会議の現状は。

A 部長 ①現在、
認可保育所の建

設に伴う定員増及び
新設について、関係
者との協議を行って
います。

②国の保育料の階
層区分が、夫婦と
子ども2人の4人
世帯をモデルに設
定しているために、
子どもが3人以上
の世帯の保育料が
上がる傾向がみら
れます。これは少
子化対策にも影響
しますので、国に
対して改善を求め
ることを検討して
まいります。

③太宰府市子ども
・子育て支援事業
計画の進捗状況、
待機児童の増加等
による事業計画の
見直し時期等につ
いて協議するため
、今年度中の会議
を開催予定してい
ます。

全質問項目

- ◇保育行政について
- ◇マイナンバー制度について





上 疆 議員

問 早急な機構改革の実施を

Q 平成26年4月
から実施された
行政組織の変更について
は、市民にとって中身がわ
かりにくいとの批判が強
い。次のように提案すると
ともに、市の対応を伺う。

課と人権政策課設置を考
える。
⑤教育部に、文化学習課
とスポーツ課を置く。

A **市長** 機構改革
については、社
会情勢に応じ機動的に変
えていく必要がある。た
だ実施時期や内容につい
ては慎重に考えてまいり
ます。

①地域健康部を健康福祉
部に、市民福祉部を市民
生活部等のわかりやすい
名称にする。そして、各
部に次の課を設置するこ
とを考える。

②健康福祉部に、福祉課
保育児童課、介護保険課
国保年金課、元気づくり
課の5課を置く。

③市民生活部に、市民課
生活環境課、税務課、納
税課、そして総務部にお
くかどうか選択的である
が、人権政策課を置く。

④総務部に、地域づくり
会情勢の変化に対応する

中で、ご意見を参考にし
たいと考えています。



全質問項目

- ◇太宰府市行政組織の変更について
- ◇防犯カメラの増設について



堺 剛 議員

問 イノシシの予防対策を問う

Q 本年度のイノ
シシの生活地
域、捕獲状況、被害状
況、被害額及び防止対策
について聞かせていただき
たい。

A **部長** ①生育地
域については、
宝満山や四王寺山等の山
間部に集中しています。
最近はそのすそ野の
住宅地付近での目撃情報
が寄せられています。

②被害状況については、
農作物への被害の他、た
め池の堰堤や田のあぜ道
の掘り返しが発生してい
ます。被害額について
は、水稲で平成26年度が
8万4000円となつて
おります。また、掘り返
しによる農地機能の被害
も発生しています。

③捕獲状況については、
平成26年度は、159頭
であったものが、本年度
は11月末で203頭捕獲
されています。
④防止対策としては、侵
入防止柵を設置するとと
もに、猟友会や農事組合
と協力し、大型ハコ畝76
基を山間部すそ野に設置
して捕獲に努めておりま
す。また、出没情報につ
いては、学校等への連絡
など、注意喚起を行つて
おります。今後、保護管
理計画を見直し、住宅地
での餌ゼロを目指して、
市民との情報の共有を
行つていきたいと考えて
います。



全質問項目

- ◇イノシシの予防対策について
- ◇空き家問題の対策について



問 国民健康保険制度の今後のあり方は

藤井 雅之 議員

Q 国民健康保険について3点伺う。

①12月議会に提案された条例改正による税率改定が、今後進む広域化に向けての保険税への影響はないのか。また現在8期となっている納期の緩和を行い、負担軽減を図るべきだと思いが見解は。

②広域化において、現在保険税の影響がどのようなのか、現状の認識は。

③かかりつけ薬局の取り組みについて。

A 部長 ①平成30年度から都道府

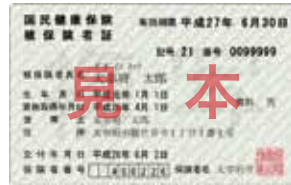
県が市町村ごとに示す、納付金及び標準保険税率等の詳細はまだ決定されていませんが、各市町村の国保被保険者の年齢構成の差異を調整した、医療費水準及び所得水準を基に決定される予定となっており、今回の改正が、広域化に向けての保険税への影響は直接にはないものと考えています。また納付向上につながるものとして、現在、検討を行ってまいります。

②現在、国保基盤強化協議会等で議論されており、今後、詳細が決まりましたら、遺漏の無いように対応したいと考えています。

③かかりつけ薬局は、患者の安全性の確保や医療費の適正化につながり、今後の動向を注視しながら、薬剤師会、医師会、歯科医師会と協力して対応していきたいと考えています。

全質問項目

- ◇国民健康保険税及び事業について
- ◇環境行政について
- ◇博多港へ寄港するクルーズ船について



Q 側溝整備について、2点伺う。

①豪雨災害に遭いややすい地域の、道路整備や側溝整備は積極的に行われているが、高雄団地、梅香苑団地、梅ヶ丘団地等の40年経過した団地内では、いまだにふたのない側溝が多数見受けられる。歩行中に溝に落ちて怪我をしたり、自動車の脱輪、また高齢者の車の乗り降りの不便さを解消する、側溝整備の進め方は。

②側溝の年間管理整備計画は。



問 高齢者が安全に外出できる地域づくりは

長谷川 公成 議員

A 部長 ①自治会

からの要望を受けて、4m程度の狭い道路を優先的に、側溝の蓋掛けを実施してきまして。また、幹線道につきましては、国の社会資本整備総合交付金事業制度を活用して、舗装改良に合わせ、側溝の整備も

行っているところです。

②長期的な整備計画はありませんが、自治会と協議の上、年度ごとの整備を進めています。市全域の整備計画としては、側溝の現状調査を実施し、自治会と協議を行いながら進めてまいります。



全質問項目

- ◇高齢者が安全・安心外出できる地域道路、側溝整備について
- ◇地域包括支援センター跡の2階の活用について



問 校区再編、校舎整備の計画は

徳永 洋介 議員

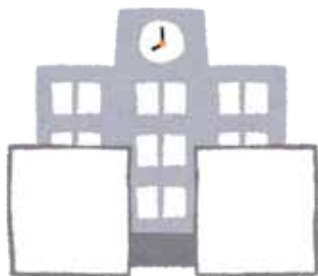
Q 太宰府市の人口は微増状態が続くと予想されています。しかし小中学校の児童生徒数は、校区による差が大きく、また増減の傾向にも、ばらつきがみられます。

A 部長 市内の児童生徒数は一時期5000人ほどまで減りましたが、現在は6000人ほどに戻っています。また校舎建設は、公共施設等の総合管理計画の中に位置づけて考えてまいります。

これまで校区編成は生徒数増加への対応を主な観点として進めてきました。中学校の教員数が少ないという厳しい現実も認識しています。

将来を見通したうえで校区再編や、老朽化した校舎の建設などは計画されているのか伺う。

そのうえで今後は①小中連携といった9年間の教育課程②コミュニティースクールの推進という観点も取り込んで考えていく必要があります。学校、家庭、地域、行政が知恵を出しあい、地域全体で納得できる校区編成が望ましいと考えられています。



全質問項目

- ◇小、中学校の運営計画について
- ◇水城・大野城築造専門神社創設1350年九州国立博物館開館10周年事業について



問 太宰府市でできる子どもの貧困対策は

小島 真由美 議員

Q 現在貧困状態にある子どもは割合は16・3%、6人に1人です。貧困による経済格差は教育格差となり貧困の連鎖を生み出します。

そこで、3点伺う。

A 部長 ①児童扶養手当受給し適用により2世帯の保育料が軽減されますが、適用の影響は保育料にとどまらないため、関係課での検討を要します。

②養護相談36件、保健相談12件、育成相談281件など計517件の相談を受けています。要保護児童対策地域協議会で、あらゆる関係者の協力の下で支援を行っています。また、妊娠前から17歳ま

①市において寡婦控除のみなし適用により、保育料などの負担軽減を図れないか。

②子どもにかかわる相談・支援の現状は。
③スクールソーシャルワーカーの増員などの教育現場における子どもの貧困対策は。



全質問項目

- ◇子どもの貧困対策等子育て支援について
- ◇組織編成の見直しについて

③スクールソーシャルワーカーは週二日、市内で2名がフル稼働しています。困難な事案には各機関が連携して対応しています。各種助成の周知を図るとともに、放課後子ども教室などの学習支援については調査研究中です。



問 病児保育についての
実施時期は

陶山 良尚 議員

Q 6月定例会に
於いて、太宰府

市の病児保育の現状と今後の対策について質問を行った。市長から、「病児保育を利用できないケース等、検証を行い、事業拡大についても検討するとともに、子ども・子育て支援事業については、本市の子ども・子育て支援事業計画に基づき更に充実を図る」との、前向きなご回答をいただいた。そこで今回は、これまでの間、多くの市民の方からの要望書も市長へ手渡されていることから、その事を踏まえた検証結果と事業拡大の実施時期について伺う。

A 市長 病児保育
につきまして

は、直接市民の皆様からのご要望等をいただき、事業拡大の必要性を感じています。現在策定中の総合計画や総合戦略においても、子育て支援の充実は、重要施策であり、病児保育の実施時期についても、筑紫医師会のご協力を得ながら早い時期

に実現したいと考えております。

部長 平成26年度の現状と検証結果を踏まえて、平成28年度当初予算に計上してまいります。



全質問項目

- ◇病児保育について
- ◇自治基本条例について



問 体育複合施設の管理運営は

木村 彰人 議員

Q 多くの市民が
利用する体育複

合施設となるための取り組みについて、3点伺う。
① 建築工事の進捗状況
② 建築工事の後発工事の状況、さらに落合橋交差点の信号機設置は。
③ 管理運営に関する指定管理者の選定、料金設定と予約システムは。
③ トレーニングジムの企画等、利用促進のための特命部署の設置は。

A 部長 ① 工事の
進捗状況につき

ましては、平成27年11月末時点で約70%となっており、平成28年7月29日の完成を目指しています。外構工事については、平成27年12月中旬、植栽工事につきましては、平成28年8月末完成を目指し進めています。

ホームページから予約できるように準備してまいります。

③ 利用促進については、市の主体的事業と競技団体への貸し出し等を中心に、指定管理者による自主事業が必要不可欠と考えます。事業展開については、指定管理者と連携しながら、今後検討してまいります。



全質問項目

- ◇多くの市民が利用する体育複合施設となるための取り組みについて
- ◇文化記念事業について



舩越 隆之 議員

問 太宰府市の交通体系及び交通量の事前調査は

Q 太宰府天満宮の外国からの観光客はとどまるどころか、平成28年度には400隻のクルーズ船が入港すると聞いています。今後の対策として交通体系の事前調査が必要と思われるが、環境税を調査費として充当できないか伺う。

A 部長 歴史と文化の環境税は、条例第1条にありますように、本市固有の歴史的文化遺産及び観光資源等の保全と整備を図り、環境にやさしい「歴史とみどり豊かな文化のまち」を創造するために課するという趣旨に基づき創設されたものです。ご質問の交通体系の調査につきましては、平成27年度事業計画として審議されました。市内の特定箇所に渋滞が頻繁に発生していることから、歴史と文化の環境税を使って何か対応できないかとの要望・意見があり、本年度、調査を実施したところですが、しかしながら、この調査は交通渋滞の調



査手法を検討するためのものです。本格的な調査につきましては、多額の費用が見込まれることから、本税を充当する事業としては見送られております。

全質問項目

- ◇太宰府市の交通体系及び交通量などの事前調査について
- ◇太宰府市松川ダムの今後について



入江 寿 議員

問 太宰府市民図書館の利用促進

Q 太宰府市民図書館の管理運営と、市民図書館の貸出冊数の現状について2点伺う。

A 部長 ①ピーク年度は平成16年で、72万9292冊です。ピークを100としたときの平成26年度の指数は74・2で、54万1063冊となっております。②貸出冊数の増加対策として、平成22年度から子どもコーナーを見直し、平成24年度に太宰府市子ども読書推進計画を策定し、さらに乳幼児の4か月検診の際にブックスタート事業を開始しました。平成25年度は、小学校への学校図書配置とともに、学校図書支援事業開始などを行っております。今後も読書への興味、関心を高め、読書の習慣を持ち、生活を豊かにす

①市民図書館の平成26年度の本の貸出冊数は、54万1063冊、貸出冊数のピーク年度は、平成16年度と聞いています。平成16年度の貸出冊数を100とした場合、平成26年度の指数について。

②貸出冊数の傾向とその要因及び貸出冊数の増加対策について。



全質問項目

- ◇太宰府市民図書館の管理運営について



問 ももいろクローバーZ
からの教訓

笠利 毅 議員

Q 「ももクロ」
太宰府公演につ

いて2点伺う。

①男女を分けるという公演形態をどのような経緯で是認してしまったのか、また実行委員会の運営形態、市の参加形態のどこに問題があったと考えているのか。
②市が今回の公益性をどのように考えているのか、また市民にはどのようなメリットがあったのか。



A **市長** ①男性限定であることについて

は、主催者側の発表時点で知りませんでした。市としては、公共の広場の利用目的や男女共同参画を考慮するうえで問題点を含んでいることから、実行委員会へ内容の変更を諮りましたが、一定の準備が進んでおり、社会的影響も大きいと判断し、決定を受け入れました。また、主催者と実行委員会の関係については、意思疎通の時間不足や市民への広報不足もあったと思っており、今後の事業運営に当たっての教訓としていきたいと考えています。

②太宰府の文化価値が上がり、世界に誇るまちと

してより広く、多くの方に認知していただけたと思っております。また、

全質問項目

◇ももいろクローバーZ
からの教訓



問 自治基本条例に対する市長
の考え、今後の制定過程は

森田 正嗣 議員

Q 約4年10か月
を要し、検討が

重ねられ、今年10月に答申された自治基本条例について3点伺う。
①この条例に対する市長の考えは。

②今後、庁舎内部で上程案の検討がなされるようだが、どのような機関で検討されるのか、また答申につき、加除訂正があると思うが、その理由も含め議事録は作るのか。
③上程案とパブリックコメントの関係につきどのように考えているのか。

A **市長** ①自治体の

構造を見直し、自分たちの町の課題は自分たちで解決し、市民福祉の向上を図るための新しい自治体のルールを定めるものと考えています。

②市長を本部長として副市長、教育長、全部長で構成する協働のまちづくり推進本部会議や関係課長で組織する市民協働推進委員会で全体の調整や条文の確認等をはじめます。議会での議決以降に市民向けの講演会の開催や市広報、ホームページに条文並びに逐条解説を掲載し、周知を図っていききたいと考えています。

③上程前の案を市民の皆

全質問項目

◇自治基本条例について
◇文化協会について

